

「小さな村 g 7 サミット」の歩み

岡山県 新庄村長 小倉 博俊

1 小さな村 g 7 サミットとは

主要 7 カ国首脳会議(G7 サミット)にあやかり、小文字の「g7」と銘打った取り組み。2016 年当時、7 地方区分で最も人口規模の小さい(離島を除く)村が集まって開催。

人口減少などの課題に共に向き合い、持続可能な村づくりに向けて加盟村の現地にて年に 1 回一堂に会し、村同士で情報交換を行っている。

加盟 7 村の名称、サミット開催地は下記のとおり。

開催回数	開催年	開催地	開催テーマ
1	2016	山梨県丹波山村	移住
2	2017	福島県檜枝岐村	都市との交流
3	2018	北海道音威子府村	小さな村でできる教育
4	2019	和歌山県北山村	ビレッジプロモーション
5	2022	岡山県新庄村	人材育成
6	2023	高知県大川村	
7	2024	熊本県五木村	



2 第5回小さな村 g 7 サミット in 新庄村

2022 年 10 月 21 日(金)～23 日(日)、岡山県新庄村にて開催。「人は『財(たから)』である」との思いを込めて、テーマを「今後の村を担う主体的に活動する人財の育成」とした。

第4回までのサミットは主として各村の行政主導で行ってきた。しかし、持続可能な村づくりのためには地域に住む人財が育ち、その力が十分に発揮されることが必要である。

そこで、第5回のサミットは新庄村の人財が育つ機会となることを狙い、企画段階から地域の民間団体に携わってもらい、3日間の開催期間内の運営にも可能な限り参加していただいた。加盟村にもこれからの地域を担っていく人財の参加を依頼し、例年にも増して各村参加者同士の盛んな交流が行われた。

	内容	民間団体の動き
10/21(金)	開会式・事例発表・グループディスカッション・夕食会	事例発表者の選定・出演交渉、事例発表の司会進行、グループディスカッションの司会進行
10/22(土)	首長による記念植樹・イベント(秋の大宴会)・首長会議・共同宣言・夕食会	イベントの実行・夕食会の運営
10/23(日)	新庄村内見学	見学3コースの決定・見学コースの案内

3 国への要望活動

小さな村g7サミット開催時、加盟7村による首長会議を行い、共同宣言を実施している。第5回サミットにおいては、開催当日のPRから一歩踏み込んで「宣言内容の実現に向けて具体的に動く」ことを目指した。

加盟7村は非常に小規模の自治体であり、加盟7村の力だけでは解決できない共通課題も数多くある。そこで、国会議員の皆様・省庁・政府に加盟7村の現状を直接伝え、支援を頂きたいと考えた。

2023年2月24日(金)、党派を超えた多くの国会議員の皆様にご参加いただいた「小さな村g7サミット in 永田町」を開催。さらに、松本総務大臣・岸田総理への要望活動を行った。

要望内容は下記の4点である。それぞれの内容は一朝一夕に実現できるものではないことは重々承知している。しかし、加盟7村共同で現状を伝え、少しでもご支援いただければ共通課題の解決に近づくはずと考えた。

- 移住者、定住者向け住宅整備への支援
- 地方区分を超えた連携ふるさと納税返礼品の緩和
- 地域プロジェクトマネージャー制度の拡大
- 森林環境譲与税の森林面積割及び人口割の配分率の見直し

要望4点のうち、地域プロジェクトマネージャー制度は、各自治体1名だけ活用できていたものが、令和5年4月1日から各自治体2名に枠が拡大された。国会議員の皆様・省庁・政府によるご支援の賜物であり、持続可能な村づくりに向けて加盟7村において制度の活用を図っていく予定である。

第5回 小さな村g7サミット in 岡山県新庄村
共同宣言

私たち小さな村g7の首長は、2022年10月21日から岡山県新庄村に集い、本サミットの開催テーマである「主体的に活動する人材の育成」について、これからも共に進めていくことを決意した。本サミットにおいて三つの指針を定め、今後も具体的な活動を行っていく。

- 一 地域で主体的に活動する人材を若者男女問わず増やすこと
- 一 持続可能な地域づくりを担う人材を育てるしくみづくりを進めること
- 一 地域内外の人材の力結集によって地域が発展していく取り組みを強化すること

超小規模の自治体である私たち7つの村は、いかにして生き残りを図るか、成長していくか、住みよい村づくりはどうあるべきかを常に問い続けていく。

私たちの地域で行われている活動が日本の最先端であり、地方の時代は我々が背負っていくという気概を持ち、7つの村の連携により発信される内容が全国の過疎地域の参考になり、将来への勇気を与えられるように共にその歩みを進めていく。

以上、ここに岡山県新庄村にて宣言する。

2022年10月22日

北海道音威子府村 村長 佐近 勝
福島県楡枝岐村 村長 星 明彦
山梨県丹波山村 村長 岡部 岳志
和歌山県北山村 村長 山口 賢二
岡山県新庄村 村長 小倉 博俊
高知県大川村 村長 和田 知士
熊本県五木村 村長 木下 丈二

令和5年2月24日

総務大臣
松本 剛 明 様

小さな村g7サミット加盟村
北海道音威子府村 村長 佐近 勝
福島県楡枝岐村 村長 星 明彦
山梨県丹波山村 村長 岡部 岳志
和歌山県北山村 村長 山口 賢二
岡山県新庄村 村長 小倉 博俊
高知県大川村 村長 和田 知士
熊本県五木村 村長 木下 丈二

要 望 書

私たち7村は、2016年に山梨県丹波山村において一週に会し、小さな村g7サミットを初めて開催しました。その後、2019年まで、加盟村である福島県楡枝岐村・北海道音威子府村・和歌山県北山村にてサミットを行い、新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の延期を経て、2022年10月に岡山県新庄村において第5回を開催しました。2023年は高知県大川村、2024年は熊本県五木村にて開催を予定しています。

私たち7村は、地方の時代は我々が背負っていくという気概を持ち、7つの連携により発信される内容が全国の過疎地域の参考になり、将来への勇気を与え、持続し続ける村をつくるために共にその歩みを進めています。

地方区分を超え、具体的に活動して学びあうという7つの努力に対して、下記の4点につきまして是非ともご支援いただけるように要望するとともに格別のご配慮を賜りますようお願い致します。

記

- 一 移住者、定住者向け住宅整備への支援
- 一 地方区分を超えた連携ふるさと納税返礼品の緩和
- 一 地域プロジェクトマネージャー制度の拡大
- 一 森林環境譲与税の森林面積割及び人口割の配分率の見直し

令和5年2月24日

内閣総理大臣
岸 田 文 雄 様

小さな村g7サミット加盟村
北海道音威子府村 村長 佐近 勝
福島県楡枝岐村 村長 星 明彦
山梨県丹波山村 村長 岡部 岳志
和歌山県北山村 村長 山口 賢二
岡山県新庄村 村長 小倉 博俊
高知県大川村 村長 和田 知士
熊本県五木村 村長 木下 丈二

要 望 書

私たち7村は、2016年に山梨県丹波山村において一週に会し、小さな村g7サミットを初めて開催しました。その後、2019年まで、加盟村である福島県楡枝岐村・北海道音威子府村・和歌山県北山村にてサミットを行い、新型コロナウイルス感染症の影響による2年間の延期を経て、2022年10月に岡山県新庄村において第5回を開催しました。2023年は高知県大川村、2024年は熊本県五木村にて開催を予定しています。

私たち7村は、地方の時代は我々が背負っていくという気概を持ち、7つの連携により発信される内容が全国の過疎地域の参考になり、将来への勇気を与え、持続し続ける村をつくるために共にその歩みを進めています。

地方区分を超え、具体的に活動して学びあうという7つの努力に対して、下記の4点につきまして是非ともご支援いただけるように要望するとともに格別のご配慮を賜りますようお願い致します。

記

- 一 移住者、定住者向け住宅整備への支援
- 一 地方区分を超えた連携ふるさと納税返礼品の緩和
- 一 地域プロジェクトマネージャー制度の拡大
- 一 森林環境譲与税の森林面積割及び人口割の配分率の見直し

4 小さな村g7サミットの今後の歩み

小さな村g7サミットは、2023年には高知県大川村(11月3日からの開催で調整中)、2024年には熊本県五木村での開催を予定しており、加盟7村での開催が一巡する。第5回サミットの首長会議において「一巡後も継続していく」との意思を加盟7村が共通して持っていることを確認した。

一つ一つの自治体規模は非常に小規模でも、小さな村g7サミットの活動を通じて互いに切磋琢磨し、知恵を出し合い、共同で行動することで小さくても輝く村づくり・持続可能な村づくりの歩みを地方の最前線で今後も進めていきたい。